

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	双海地域公園管理運営事業		会計区分	1	一般会計		所管部署	都市整備課									
			予算科目	8	款	5		項	2	目	土木費						
事業番号	3757		事業区分	政策的事業【任意】				□	重要事業	シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度				
評価の種別	□ 詳細評価		□ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）							所属長名	小寺	小寺	小寺				
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造															
	基本施策	住みやすい都市空間づくり															
根拠法令等	都市計画法、伊予市公園条例												担当責任者	山岡	山岡	山岡	
関係する計画等	伊予市国土強強化地域計画、伊予市都市公園施設長寿命化計画													事務担当者	山岡	山岡	山岡
事業の目的 【ゴール】	対象	公園の施設利用者											事業開始年度		□ 平成 20 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力	高岡	高岡
	意図	だれもが身近にスポーツを親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行う。															
事業内容 【アクティビティ】	具体的な内容、 どのような方法で 実施しているのか												事業終了年度 （予定）	令和 年度(予定) □ 設定なし			
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他（ ）																
連携事業及び 関連事業の有無	□ あり（以下に記載すること） □ なし												【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業				
	事業番号	事務事業の名称 <td colspan="9">事務事業の概要</td>		事務事業の概要													
	3750	公園管理運営事業		都市公園及びその他の公園の維持管理運営													
	3759	県施設公園管理運営事業		県施設公園の維持管理													
本事業とSDGs （持続可能な開発目標） との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう		□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに				□ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を							
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに		□ ゴール 8	働きがいも経済成長も				□ ゴール 14	海の豊かさを守ろう							
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を		□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう				□ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう							
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに		□ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう				□ ゴール 16	平和と公正をすべての人に							
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう		□ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを				□ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう							
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に		□ ゴール 12	つくる責任つかう責任												

前回評価の振返り

評価年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
令和 4 年度			
最終判断			
現状維持			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	節	細 節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に	
								R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求		
予算	当 初 予 算	32,709	24,979	35,962	26,583	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	需用費		2,856	3,538	3,952	3,496	
	補 正 予 算	0	0	0	0		役務費	手数料	167	233	178	185	
	前年度から繰越	0	0	0			委託料		18,465	19,205	26,448	21,798	ふたみ潮風ふれあい公園指定管理業務等
	予 備 費 等	0	0	0	0		使用料及び賃借料		60	60	60	60	給水施設用地賃借料
	計	32,709	24,979	35,962	26,583		工事請負費		4,004	410	2,090	842	遊具更新工事等
決算	執 行 額	25,552	23,446	32,728			備品購入費					202	屋外用消火ホース購入等
	翌年度へ繰越	0	0	0									
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0								
	県 支 出 金	0	0	0	0								
	地 方 債	3,400	0	0	0								
	そ の 他	594	942	1,103	995								
	一 般 財 源	21,558	22,504	31,625	25,588								
	執行率（％）	78.1％	93.9％	91.0％									
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		78.1％	93.9％	91.0％									
正規職員の人工数		0.60	0.60	0.60									
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの	
※ 執行額＋人件費		30,228	28,105	37,465		事業費の総計				25,552	23,446	32,728	26,583

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 4	目標実績	R 5	目標実績	R 6	目標実績	達成度		令和 4 年度の振返り	令和 5 年度の振返り	令和 6 年度の振返り	
	指標①	有料施設利用者数 (ふたみ潮風ふれあい公園)	人	—							事業把握のための実数	活動成果や課題等				
					114,062	12,052	10,242									
	指標②											課題への改善提案				
	指標③															
指標④																

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R	4	目標実績	R	5	目標実績	R	6	目標実績	達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
	長期成果	指定管理者と協力し更なる利用者の維持を図る	指標①	施設の利用者数維持（前年比）	%		100			100			100			かなり達成 (80%以上)	
							1,181			11			85				
			指標②														
			指標③														

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	3	評価点ランク		A	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
			市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である		S	11 ~ 12			
				サービス主体の妥当性		4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	A			9 ~ 10
		有効性	成果指標の達成状況		4 目標を上回って達成できた（100％以上の達成） 3 概ね達成できた（80％以上の達成） 2 やや達成ができなかった（50％以上の達成） 1 達成できなかった（50％未満の達成）	4	評価点ランク		A	事業遂行に係る課題・改善点
				成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない		S			
			市民等への影響		4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない		3			
		効率性		手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	4			評価点ランク	
			コストの最適性		4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である		S		11 ~ 12	
				受益の適正性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない		3		C	5 ~ 6
			D		3 ~ 4					
	一次判定	自己判定結果の確定			□ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します				所属長の所見	
		貢献度	重要度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	A	ふたみ潮風ふれあい公園は、開設から約30年が経過し、施設が老朽化しており、定期的な施設の点検・適正な管理を実施することにより、事故を防止し、快適な利用環境を確保する必要がある。令和6年度にふたみ潮風ふれあい公園利活用方策調査業務を委託し、市民アンケート、利活用方法等を検討している。	
				A		高い				
		所属長		S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む		C	低い	A		
	D			非常に低い						